



第3回リ・ファッションコンテストの様子

モノを大切にする社会作りの機運を盛り上げるべく2009年9月に設立された一般社団法人日本リ・ファッショング協会（鈴木純子代表理事、本部＝東京都中野区）。協会は持続可能な循環型社会の生活スタイルにシフトしようというスローガンを掲げて活動を始めた。知恵と技術を活かした生活の見直しを“リ・ファッショング”と名付け、家庭から廃棄されるアパレル製品のリサイクル率が当時13%と僅かな状況であることを鑑み、先ずは衣生活に関してのリ・ファッショングの普及を目指そうと事業活動を行っている。鈴木代表理事は「大きく4つの事業を行っている。リ・ファッショングの普及、資格認定、CSR活動支援、リ

で、昨年はソーリングカフェもオープンした。今年度の事業計画では東北を中心に常設のソーリングカフェを開拓していく」と話し、さまざまな取り組みの一端を説明した。

門)を公募し、3月末から素材提供をスタートさせた。そして6月1日から30日までの1ヶ月間公開審査を行い(ウェブと店頭投票、店頭投票は6月20日から24日、新宿マリイアネックス2階)、このほど受賞作品が決定したことを見て7月18日午後3時から目黒区のプリンセスガーデンホテルで「第3回リ・ファッショングランプリテスト表彰式」を行った。この表彰式にはファッションへの造詣が深い元モデルで俳優の風間トオル氏と協会の鈴木代理事によるトークセッションも企画されて表彰式に華を添えた。

ルイ・アーススマイル賞
佐竹駿一 手に花を△
同 TOTO賞 はねだみ
え 光・和・装・服のフ
リアージュ▽エコプロジェ

ツーション性や縫製技術の
素晴らしいとともに、今
あるものを活かす知恵と
技、作者の思いに焦点を
当てている。

虎糞衣類でコンテスト
日本リ・ファッショング協会

エクト賞 アノノラ 団
を集める

協会では、楽しくお洒落な取り組みの一つの提案として不用な衣類をリメイクして新しい命を吹き込むことを推進しており、コンテストではファッション性や縫製技術の素晴らしさとともに、今まであるものを活かす知恵と技、作者の思いに焦点を当てている。